



HIGHER SCHOOL CERTIFICATE EXAMINATION

2000

JAPANESE
FOR BACKGROUND SPEAKERS

2 UNIT

(100 Marks)

*Time allowed—Three hours
(Plus 5 minutes reading time)*

DIRECTIONS TO CANDIDATES

- Attempt **ALL** questions.
- Answer Section I Part A, Section I Part B, and Section II Part A in **SEPARATE** Writing Booklets.
- Answer Section II Part B in the special Writing Skills Answer Booklet.

SECTION I—READING SKILLS

PART A—UNSEEN COMPREHENSION

(25 Marks)

QUESTION 1 Use a SEPARATE Writing Booklet.

問題 1 の答えを解答冊子に記入しなさい。

Read the following passage, then answer the questions in JAPANESE.

次の文を読んで、あとの問いに日本語で答えなさい。

螢 ほたる

a 「その子らに捕えられんと母が魂たま螢となりて夜よを来きたるらし。むかし窪田空穂くぼたうつほという歌人にこのようによまれました螢の名所は、まもなくでございます。この世に思いの残る人々の魂は、流れ星に乗って昇天しょうてんすることが出来ないのです、螢となって水のほとりをさまようものと、思われていたのでございます・・・」

夕暮れ近いハイウェイを、大型バスが走っていた。都会からのお客が、大ぜい乗っていた。みな週末の旅行なのだった。バスのなかのスピーカーからは、録音された案内が、音楽とともに流れつづけていた。聞いている者もあつたし、聞いていない者もいた。

b 「その螢も一時はだいぶ減りましたけれど、天然記念物の指定以来、保護を受け、この夏などは、見事なむれが見られるようになったのでございます。あ、到着致しました。おおりのかたは、どうぞ。では、ごゆっくり、ひと夜をおくつろぎ下さいませように」

何人かのお客をおろすと、バスは走り去った。おりた連中は、そろそろと旅館にはいっていった。

しかし、実際には、天然記念物といっても、いいかげんなものだった。螢はほとんど絶滅に近かった。進んだ社会保障のおかげで、子供のことを気にしながら死ぬ親たちが少なくなつたせいではない。空中にまかれた、殺虫剤のせいだった。ハエ、カ、ノミなどを掃はきする運動が行われたのだ。もっとも、反対者もあつた。

QUESTION 1 (Continued)

「そんなことをしたら、チョウもいなくなる」

と言うのだった。だが圧倒的な意見にはさからえない。

「チョウなんか、なんの役にも立たないじゃないか。そのために、ハエや力を残せと言うのかい」

この説は数が多いばかりでなく、議論としても正しかった。飛行機から殺虫剤がばらまかれ、大衆の生活はより清潔にさらに健康的になったのだ。多くの者は喜んだ。しかし、思わぬところに、被害者がいた。このへんの旅館の主人たちだった。

「蛍の減るのには、まったく弱ったな」

「うん、お客を呼ぶ看板が、なくなるんだからな」

「どうしたものだろう」

「だれか、こんなことの専門家から知恵を借り、対策を立ててくれよ」

相談がなされ、代表者は奔走し、いい結果がもたらされた。

まもなく蛍はふえた。しかし、それは冷たい色の豆ランプをつけた、小さなヘリコプターだった。しげみにかくされた操縦機からの電波で、川むこうをすいすいと飛びかい、朝の露がおきるまで、毎晩つづけられた。都会からのお客たちは、人工蛍とは気がつかない。だいたい生まれてから本物を見たことがないのだから、真偽を見分けることはできやしない。

川のむこうは、天然記念物地帯と称し、立入禁止にされていた。だから、絶滅をまぬかれた本物の蛍も、ごく少しだけいた。しかし、元氣よくとびまわる人工蛍にくらべて、見おとりがした。光りもずっと弱かった。そこで、本物は少しはなれて集り、おとなしく飛んでいた。

すっかり夜のふけた旅館の窓からは、バスで運ばれて来たお客が、それぞれの部屋に落ちついて眺めていた。ある者はビールを飲みながら、ある者は小型ラジオを聞きながら。そして、なかには、蛍見物そっこのけでゲームをやっている者もいた。

QUESTION 1 (Continued)

夜の風は、川の水にうつった光をかき乱し、ひるまの草いきれのなごりとまざったカクテルとなって、どの部屋にもくばられていた。

旅館のはじのほうの窓。いちばん安い部屋らしかった。そこでも、若い男女が、蛍を眺めながら小声でささやき合っていた。

「ほんとうにきれいね」

「うん」

「ねえ。あたしたち、いつになったら結婚できるのかしら」

「みんなほくがいけないんだ。いまの社会では、人間らしさが多くては出世できないんだ。機械になりきるか、機械の付属品になれる者かでない、収入が多くならないんだよ」

「いいのよ。そこが、あなたのいいところなんだから。だけど、あなたのような人を好きになるあたしも、変った女ね」

「ほら、見てごらん、あの蛍^e。何匹かだけ、仲間はずれにされているよ」

「ほんと、どうしたのかしら」

「きつと光が弱くて、元気がないので、みんなといっしょに飛べないんだね。かわいそうだな」

「なんだか、あたしたちみたい……」^f

二人に見つめられながら、弱い光の蛍のむれは、一生懸命に飛びつづけていた。

QUESTION 1 (Continued)

- 一、この短歌の意味を書きなさい。(傍線 a)
- 二、「その蛍も・・・ようになった」とありますが、何が起こったのですか。なぜ蛍が減ったのか、そしてどのようにして増やされたのか、具体的に詳しく述べなさい。(傍線 b)
- 三、この情景描写は場面の展開上、どのような効果がありますか。(傍線 c)
- 四、「若い男女」の置かれた状況を説明しなさい。(傍線 d)
- 五、「あの蛍」とは、どんな蛍ですか。文中よりさがして、四字以内で書き抜きなさい。(傍線 e)
- 六、なぜ「あたしたちみたい」と考えるのでしょうか。(傍線 f)
- 七、あなたはこの文章を読んで、筆者のメッセージは何だと思いますか。
- 八、文中にある次の言葉の意味を書きなさい。
 - ア、昇天
 - イ、一掃
 - ウ、奔走
 - エ、真偽

PART B—PRESCRIBED TEXT

(25 Marks)

QUESTION 2 Use a SEPARATE Writing Booklet.

問題 2 (a)(b)の答えを新しい冊子に記入しなさい。

- (a) Read the following passage, then answer the questions in EITHER Japanese OR English. No additional marks will be given for answering in Japanese.

次の文を読み、あとの問いに日本語または英語で答えなさい。どちらで答えても、得点に変わりはありません。

足音もせず突然目の前にあらわれた若者の姿を見て、おどろいたのはむしろ向うである。泣いていた下駄穿きの少女は、泣声をやめて立ちすくんだ。それは初江であった。

若者はこの思いがけない幸福な出会にわが目を疑った。二人は森の中で出くわした動物同士のように、警戒心と好奇心とにこもこも襲われて、目を見交わして突立っているだけであった。ようやく新治がこう訊いた。

「初江さんやろ」

初江は思わずうなずいたが、それから自分の名を知っているのにおどろいた様子をみせた。しかし一生懸命に力んでいるこの若者の黒いまじめな瞳は、初江に浜で自分をじっと見つめたあの若い顔を思い出させたらしかった。

「泣いとたのは汝とちがうか？」

「私です」

「何で泣いとたんや」

新治は巡査のようにそう尋ねた。

少女は案外てきぱきと答え、実は燈台長の奥さんが村の有志の少女に行儀作法を教える会があり、自分もはじめてそれへ出るのであるが、早く来すぎたので裏山へのぼってみて足を延ばすうちに、道に迷ったのだと言った。

そのとき二人の頭上を鳥影がかすめた。隼であった。新治はそれを吉兆だ

QUESTION 2 (Continued)

と考えた。すると、もつれがちだった舌はほぐれ、口頃の男らしい態度を取戻して、彼は、燈台の前をとおって家へかえるところだから、そこまで送ってゆこうと申出た。少女は流れた涙をすこしも拭おうとしないで頬笑んだ。雨の降っているうちに射しだした日のようである。

初江は黒サージのスポンに、赤いセエタアを着て、赤ビロードの足袋に下駄をはいている。立上がって屋上のコンクリートの縁から海を見下ろしながら、

「この家は何ですか？」

と訊いた。新治もすこし離れてその縁に凭った。そして、

「観的哨やが。大砲の弾丸がどっちへ飛ぶかを見たもんや、ここで」と答えた。

...

こうして新治は十分幸福だったが、初江が燈台長の家へ行かなければならない時刻が迫っていた。初江はコンクリートの縁から身を離して、新治のほうを向いて言った。

「私、もう行きます」

...

新治が先に立ってコンクリートの階段を降りて来るとき、初江の下駄は軽いよく冴えた音を立て、それは廃虚の四壁に倒した。二階から一階へ降りがけに、新治の背後でその下駄の音が止った。新治はふりむいた。少女は笑っていた。

「何や」

QUESTION 2 (Continued)

「私も黒いけど、あんたも随分黒いねえ」

「何や」

「よう日に焼けとるがな」

若者は理由もなしに笑いながら階段を下りた。そのまま行きそうになって、引返した。母親から頼まれた焚付けの束を忘れたのである。

そこから燈台へかえる道で、山なす松葉の束を背負って少女に先立って歩きながら、名前をきかれた新治ははじめて名乗った。それからあわてて附加え、自分の名前も、自分とここで出会ったことも人に言わないでくれ、と頼んだ。村人たちの口がうるさいことを、新治はよく知っていた。初江は言わないと約束した。嗜好きの村人を憚る尤もな理由が、こうして何でもない偶然の出会い、二人の秘密に変化させてしまった。

新治が次に会う手だても考えつかずに黙って歩くうちに、燈台を見下ろすところまで二人は来ていた。若者は台長官舎の裏手へ下りる近道を少女に教え、自分はわざと迂路をとっておてかえるために、そこで別れを告げた。

QUESTION 2 (Continued)

- 一、「警戒心と好奇心とにこもこも襲われて」というのは、具体的にはどういうことですか。次のア～エの中から一番適当と思われるものを一つ選んで、そのカタカナを書きなさい。（傍線部1）
- ア、思いがけなく人に会った嬉しさと心配
- イ、突然異性に会ったときめきと戸惑い
- ウ、予想外の場所で人に会った危険と興味
- エ、偶然異性に会った物珍しさと恐怖
- 二、
- (1) 「吉兆」の意味を答えなさい。（傍線部2）
- (2) これをきっかけに、新治の気持ちはどのように変化しましたか。
- 三、
- (1) 「雨の降っているうちに射しだした口」とは何の比喻ですか。（傍線部3）
- (2) どうしてこういう比喻が使われていますか。
- 四、
- なぜ忘れたのですか。（傍線部4）
- 五、
- (1) ここでの「秘密」とは何ですか。（傍線部5）
- (2) 「秘密」を持つことは、二人にとってどういう意味がありますか。
- 六、
- 初江の新治に対する話し方の移り変わりから、何が読みとれますか。文中より話し言葉の具体例を挙げて説明しなさい。

QUESTION 2 (Continued)

- (b) Read the following passage, then answer the questions in EITHER Japanese OR English. No additional marks will be given for answering in Japanese.

次の文を読み、あとの問いに日本語または英語で答えなさい。どちらで答えても、得点に変わりはありません。

二つの座標軸

一九八〇年代の終りには、「日本封じ込め」だの「ジャパン・バッシング」だの、おそろしげな活字が新聞や雑誌に躍った。そうかと思うと、「日本に学べ」とか「日本の時代」とかのくすぐりも、あとを断たない。少なくとも、欧米文化圏から見た日本像は、ふたつの対抗する力の影響を受けている。ひとつはレイシズム（人種差別主義）、もうひとつはエキゾティシズム（異国崇拜主義）である。「外から見た日本分析」の分析には、このふたつのレンズから生まれる歪みの質と量を正確に計測する作業を欠かせない。カウラへの旅でも、その両方を暗示する場面に出会った。

レイシズムの奥には、根深い日本人蔑視がある。日本人は経済や技術の世界では優秀かもしれないが、それ以外の面では野蛮だという思い込みである。

通りがかりの町で買った新聞のなかに、こういう記事が載っていた。シドニーの一流ホテルでは、毎週必ずどこかの部屋のカーペットの取り替えをやらなければならないというのである。電気工事まで必要なこともある。その理由は、日本からの観光客の増加にあるという。日本人のなかには、西洋式の風呂の入り方を知らない人がかなりいるのだそうだ。バス・タブから出て、外でゴシゴシやり、たっぷり湯をかぶってきれいにするらしい。それはいいのだが、使った湯の行き場がない。当然、あちこちに溢れ出て、カーペットは濡れるわ、電気の配線に影響が出るわ、とにかく騒音が絶えないという。この記事の横には、ご丁寧に、その様子を皮肉ったマンガまで付いている。

QUESTION 2 (Continued)

この話は、まぎれもない事実には違いない。ただ、記事の書きぶりから見て、書いている記者の心底には「非文明的」な日本人を嘲笑する気分があふれている。それよりも何よりも、この記事を読んでニンマリする読者の気持ちの奥にあるのは、「ああ、やっぱり日本人は」という一種の快感と蔑視の混じった優越感ではないだろうか。今日の欧米社会のレイシズムは、南アフリカや北米南部のような隔離主義的な差別ではなく、もつと微妙で手のこんだ形が主流である。

エキゾティシズムは、この逆をいく。それは、東洋社会としての日本への憧れに根ざしている。禅、茶の湯、生け花、相撲、盆栽、歌舞伎、能、狂言、民謡など、西洋社会にない文化的伝統に対する羨望は、その最たるものだ。欧米の近代化は、機械化・都市化・工業化の過程で極度の個人主義と人間疎外を生み出した。ところが、一見集団主義的に見える日本社会には、自然志向や人間尊重の気風が壊れないで残っているというわけである。

カウラの日本庭園も、西洋から見た異国崇拜の対象としての日本を示して、余すところがない。茅葺きの屋根、石庭、桜並木、茶室など、欧米人のエキゾティシズムに訴えるものが全てそろっている。もちろん、現代の平均的な日本人の日常生活は、このようなものから縁遠い。しかし、このような風変わりで魅惑的な光景が、ある種のオーストラリア人には、西洋社会が近代化の過程で失ったものを、日本社会が現代にまで維持し続けていることの表象のように映る。

(杉本良夫『オーストラリア六〇〇〇日』)

QUESTION 2 (Continued)

一、ここでの「くすぐり」とはどういう意味ですか。(傍線部1)

二、「ああ、やっぱり日本人は」に続く言葉を入れたらどうなりますか。次のア～エの中から一番適当と思われるものを一つ選んで、そのカタカナを書きなさい。(傍線部2)

ア、おもしろいな

イ、自分勝手だな

ウ、きれい好きだな

エ、遅れているな

三、「もっと微妙で手のこんだ形」とはどんな形か述べなさい。(傍線部3)

四、「西洋社会が近代化の過程で失ったもの」とは何ですか。文中よりさがして書きなさい。(傍線部4)

五、(1) この文章の題名「二つの座標軸」とは、具体的に何と何を指しますか。

(2) 外国から見た日本をこの「二つの座標軸」を使って説明しなさい。

SECTION II—WRITING SKILLS**PART A—TRANSLATION**

(20 Marks)

QUESTION 3 Use a SEPARATE Writing Booklet.

問題3の答えを新しい冊子に記入しなさい。

Translate the following passage into Japanese. 次の文を日本語に訳しなさい。

That night I couldn't sleep, thinking about what Bill had said, and I made up my mind to get out of the place as soon as I could. Bill and I often talked of getting out.

When the men returned with stores and cases of grog, Bill remarked that there would be another brawl on Christmas Day, as that was what always happened every year.

A day or so before Christmas Day the relatives and friends arrived, and the women set to work cooking and preparing everything.

On Christmas Eve Bob told everyone, 'Let's forget the past and show that we can have a good merry Christmas'.

All the rooms were occupied by guests that night, so I had to go to the back of the stables to sleep. When I was making up a bed, Bill came and joined me. Lying in bed, we talked for a long time.

Bill suggested that we hide some of the grog to stop any brawling because it is only when they get very drunk that they begin to argue and fight.

PART B—COMPOSITION**(30 Marks)****QUESTION 4** Use the special Writing Skills Answer Booklet provided.

原稿用紙に書きなさい。

Write an essay in Japanese on ONE of the following topics. Your essay should be 800–1000 *ji* in length. Indicate your choice of topic, (a) or (b), in the box provided in the Answer Booklet. Use the Answer Booklet correctly.

次の文を読んで、トピック(a)(b)のうち一つを選び、日本語で800–1000字の小論文を書きなさい。原稿用紙の表紙に(a)又は(b)と明記しなさい。なお、原稿用紙の正しい使い方に留意すること。

EITHER

- (a) 一般の日本人のオーストラリアに対するイメージを筆者は下記のように説明していますが、オーストラリアに住むあなたはどうか考えますか。

今日の日豪関係の一番大きい問題は、普通の市民同士のレベルでの相互理解の機会が少ないことにある。・・・

日本から見たオーストラリアのイメージは、広大な自然、珍しい動物、すばらしい観光地といった程度で、庶民の日常生活とか社会構造や文化の構造について連想することが出来る人は少ない。・・・

日本からの観光客は年々増えているが、オーストラリアの市民の日常生活に触れている人たちは、本当に数が限られている。

(杉本良夫『オーストラリア6000日』)

OR

QUESTION 4 (Continued)

- (b) 下記の外国語習得の過程に対する筆者の意見についてどう思いますか。自分の経験をふまえて論じなさい。

外国語を習得するという過程は、モノマネの要素をふくむ。とくに「話す」とか「書く」という能動的行動はネイティブ・スピーカーの模倣ぬきには成り立たない。母語の使い手の話や文章を「聞く」とか「読む」といった受動的行為の中で身につけたものを元手としてたくわえて、それを使っていくということになるからである。英語を習得する日本人は、英語を母語とする人たちのイミテーションをどこかでやっている。同じように、日本語を学ぶ外国人も、日本人の話しぶりや書き方を繰り返しまねるという過程を通らざるをえない。模倣は相手に対するエンパシー、いわゆる感情移入を含む。心の奥底でどこか共感するわけである。だから、日本語を勉強する外国人は、いろいろ気に入らない点があっても、心の底では日本ファンになってくる。

英語を学ぶ日本人は、論理の次元では反米、反英、反豪である場合でも、ほとんど無意識のレベルでは英語社会に共感している。そうでなければ、英語が身につかない。

(杉本良夫『オーストラリア6000日』)

End of paper

BLANK PAGE